

# 韓国語の固有派生色彩語の意味

金 仁 和

## Abstract

Korean language includes various color terms. Especially, the number of derivational color terms of native Korean increases to 315 words as 5 basic color terms do by means of affix derivation, inner variation and zero variation. Meaning of these 315 words are distinguished in terms of it's deepness, vividness, brightness, luster, transparency, and imitative factors in dictionary.

In real situation, however, using these color terms, there exist some problems that are not defined by the meaning of dictionary. In order to solve these problems, the concept of contextual meaning has been adopted in this study. Many cases are found in real usage, where this contextual meaning overrules the basic meaning, i.e., the meaning of dictionary. It has been investigated through the questionnaire, how contextual meaning is related in choosing the color terms, what it is like in detail.

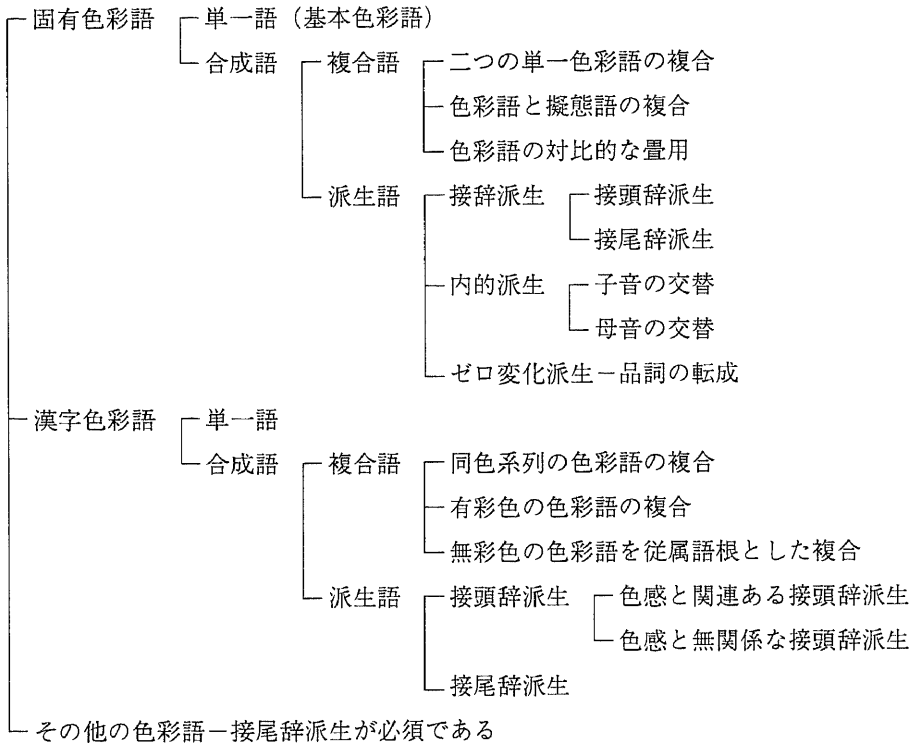
In result, there found many cases where choosing and interpreting these color terms are conducted from the psychological condition of speaker and idiomatic usage, depending on it's object and situation. It is known that derivational color terms of native Korean have been developed in their quantity and quality, and that this development is brought in order to enrich the affective expression of speaker.

Analyzing these color terms historically used in various sentence corpus, it is expected that periodic characteristics of color terms will be clearly defined, and that historical progress of the meaning of color terms will be well organized through changing process of the meaning in using color terms. And if the studying object is extended to all the sensory terms, the more detailed contents in the contextual meaning of color terms should be revealed.

## 1. はじめに

韓国語の色彩語は、大きく、固有色彩語、漢字色彩語、その他の色彩語の三つに分類できる<sup>1</sup>。このうち、一番豊富な色感を持つ固有色彩語は、基本色彩語5語(붉다 buktta, 검다 goemtta, 희다 heuida, 푸르다 pureuda, 누르다 nureuda)<sup>2</sup>と、基本色彩語を基準として作られた複合語(約59語)、派生語(約315語)で構成されている。

固有色彩語、漢字色彩語、その他の色彩語は、文法的にも語用的にも各々特性と用法が異なる。まず、色彩語の文法的な特性を簡単に整理すると、次のようである。



上記のように、韓国語の色彩語は、単語形成における特有な規則性と高い生産性を見せている。特に、固有色彩語の派生色彩語は、5語の基本色彩語 (붉다 bukta : 赤い, 검다 goemtta : 黒い, 희다 heuida : 白い, 푸르다 pureuda : 青い, 누르다 nureuda : 黄色い) から、接頭辞と接尾辞による派生、子音と母音の一部が交替される内的派生、形態の変化なく品詞の転成が起きるゼロ変化派生などで、その数が315語になる。韓国語の語彙群の中でも、一番の生産性を持っている。これらの意味的な識別はどういうふうに行っているだろう。

色彩語の意味は、色に基づいている。しかし、379語 (固有語, 漢字語, その他) となると、色を識別して、色と色彩語を正確に対応できるか。また、色彩語の意味は色を表すだけなのか。そこで、本研究は、固有語の派生色彩語を対象に、実際の使用場面で色彩語の語用的な意味内容を究明することを目的とする。

1 漢字色彩語とその他の色彩語は, 이희승 (1981), 신기철·신용철 (1983) の国語辞典から収集した。漢字色彩語は, 常用漢字として認められないのは除外して, 62語だった。その他の漢字語は, 該当する名詞の辞典での説明の中, '색 (갈) saek (kkal) : 色', '빛 (갈) bit (kkal) : 色' という接尾辞との派生が可能だと示されたものを, 固有語, 漢字語, 外来語の全てを対象に収集した。それらが色感を指示する語彙として一般的に通用するかを, 50人の中学校の教師に聞いた。その結果, 25人以上が色彩語として認めた63語が, その他の色彩語として判定された。

韓国語の色彩語の形態的特徴については, 김인화 (2005) を参照せよ。

2 韓国語のローマ字表記は, 「2000년 개정 국어의 새 로마자 표기법」(2000年改定の韓国語の新しいローマ字表記法) に従ったものである。

## 2. 基本的意味と脈絡的意味

言語の機能は、大きく二つに分けて考えられる。まず、指示物を象徴化して報告したり、意図を促したり、また、報告をサポートしたりする、1次的な告知表現としての機能がある。それから、指示対象と聴者に対する、また、発話自体と発話内容を含んだ状況に対する言語使用者の態度などの2次的な感情表現としての機能もある。実際の言語使用場面では、告知表現は基本的意味として、感情表現は脈絡意味として、選択され、解釈される。

語彙のレベルでも、この二つの意味機能が見られる。基本的意味は、一つの語彙を一つの単位として独立させた際現れる意味で、抽象的な観念であって、実際使用場面での具体的な意味ではない。語彙は、文脈の一部として、言語の使用場面に加担されると、言語使用者の情意が示されたり、聴者にある情意を喚起させたりする脈絡的な意味を持つようになる。脈絡的意味は、いわば、言語使用の場面で発生する副次的な意味である。ところが、実際の言語使用場面では、副次的で脈絡的意味が意味を決めるとも重要な価値をもっている。この価値は、語彙の種類によって比重が異なる。それから、基本的意味と脈絡意味は、語彙の形態面から取り出して区分することは困難である。

色彩語の意味機能も、色の告知と、状況の表現の二つに分けることができる。色の告知という機能は、色彩語の色が体系化され、正確に区別できるという前提から成り立つ。しかし、315語ともなる固有語派生色彩は、多様な色を表現できるように見えるが、実際は、色彩語と色の分化の間に科学的で一般的な対応分類はできていない。一方、色以外の意味要素を色彩語の形態と結びつけて記述できれば、状況の表現という意味機能が明確に説明できる。しかし、現在出版されている辞書にはその記述がほとんどなく、実際の使用場面での慣習的な傾向も測定しにくい。

色彩語での脈絡的意味の価値は、より正確な使用とその使用の活性化することにある。それから、色彩語の脈絡的意味は、語数と独自の合成法により、形態上の分析がある程度可能である。色彩語で脈絡的意味の価値と形態上の分担部を具体的に調べるには、対象として固有語の派生色彩語が適している。<sup>3</sup> 固有語の派生色彩語では、数の面でも、形態の面でも、脈絡的意味の提示様相がより明確に見られ、その価値を確認できる。

そこで、本研究では、色の告知を基本的意味、状況の表現を脈絡的意味と分類し、韓国語の固有語の派生色彩語における意味内容と、その使用様相を調べる。特に、脈絡的意味に焦点を合わせ、

3 漢字語色彩語は、合成（複合と派生）の様相が形態論的に色の告知や区別のためのもので、脈絡的意味を言語形式上考察することは難しい。붉다系列（赤系列）を例としてあげると, 적 (joek 赤) と 홍 (hong 紅) (単一語), 주홍 (juhong 朱紅) と 청홍 (choenghong 青紅) と 백홍 (baekhong 白紅) (複合語), 담홍 (damhong 淡紅) と 분홍 (bunhong 粉紅) (接頭辞派生語), 적색 (jeoksaek 赤) と 적뿔 (jeokbit 赤) (接尾辞派生語) などから分かるように, 形態が明確な色の区別を表したり, 色を強調したりしているので, 形態から脈絡意味だけを分析するのは困難である。

その他の色彩語は、漢字色彩語とは正反対に、一般名詞に色の告知を委託しているもので、基本的意味を設定自体が難しい。

固有語の複合色彩語は、色彩語と非色彩語（擬態語）の結合の場合が多く、色自体が持っている脈絡的意味が明らかではない。また、色彩語間の結合の場合も、漢字語色彩語の複合語と同じく、明確な色の区別を形態で示している。

実際の使用場面での重要度を明らかにする。具体的には、次の3つの仮説を語用論的立場で検証していく。

- ① 固有語の派生色彩語が選択される際には、色の情報とともに脈絡の情報が必要である。
- ② 固有語の派生色彩語の脈絡的意味には、状況に対する言語使用者の心理と、対象に対する言語使用者の心理が関与する。
- ③ 固有語の派生色彩語において、基本語基は基本的意味の、派生部は主に脈絡的意味のための装置である。

### 3. 調査の目的と項目

固有語の派生色彩語の意味を調べるため、本研究ではアンケート調査を実施した。

調査は、20才から40才までの男女<sup>4</sup>、それぞれ50名、計100名を対象に行った。

全ての質問は、次の5つのグループに分けられて提示された色彩語から選択するように、指示されている。

#### グループ 1

새빨강다 (saepalgatta) 벌정다 (beolgeotta) 밧그레하다 (bageurehada)  
 밧그죽죽하다 (balgeujokjokhada) 빨강다 (palgatta) 불그스름하다 (bulgeuseureumhada)  
 붉다 (buktta) 불그레하다 (bulgeurehada) 시뻘정다 (sippeolgeotta)

#### 그룹 2

거무끄름하다 (geomukkeureumhada) 새까맣다 (saekkamatta) 검다 (geomtta)  
 시꺼멓다 (sikkoemeotta) 감다 (gamtta) 가무끄름하다 (gamukkeureumhada)  
 가무퇴퇴하다 (gamutoitohada) 까맣다 (kkamatta) 거무죽죽하다 (geomujukjukhada)

#### 그룹 3

해끄름하다 (haekkeureumhada) 하얗다 (hayatta) 희끔하다 (heukkeumhada)  
 시허엷다 (sihoeyeotta) 해끔하다 (haekkeumhada) 희다 (heuida)  
 희끄무레하다 (heukkeumurehada) 허엷다 (heoyeotta) 새하얗다 (sahayatta)

#### 그룹 4

푸르다 (pureuda) 시퍼렇다 (sipeoroetta) 파르죽죽하다 (pareujokjokhada)  
 새파랗다 (saeparatta) 푸르멩멩하다 (pureudengdenghada) 파르스름하다 (pareuseureumhada)  
 퍼르죽죽하다 (peoreujukjukhada) 파랗다 (paratta) 퍼르무레하다 (peoreumurehada)

#### 그룹 5

씻누렇다 (sitnureotta) 노리끼리하다 (norikkirihada) 누르다 (nureuda)  
 누르스름하다 (nureuseureumhada) 노랗다 (noratta) 섯노랗다 (saetnoratta)  
 누렇다 (nureotta) 누리끼리하다 (nurikkirihada) 노르무레하다 (noreumurehada)

4 調査の結果、大概是男女別にそれほど差がなかったが、一部顕著な差を見せるのもあった。特に、対象と色彩語を対応させた場合に、そういう傾向があった。その原因については、インタビュー調査などの追加調査を通して考える必要がある。

グループ1は赤系列から、グループ2は黒系列から、グループ3は白系列から、グループ4は青系列から、グループ5は黄色系列から、それぞれ単一色彩語と8つの派生色彩語を辞書形で提示している。語彙を選択する際、頻度と認知度を第1の基準とし、できるだけ多くの派生様相を反映して、それを各色の系列ごとに対応させた。提示順は、色の提示順と結び付けないように、ランダムにした。

調査項目は、3つである。本研究では、色彩語、特に固有語の派生色彩語の選択には、色という基本的意味だけではなく、脈絡的意味が大いに作用していると考えて、その脈絡的意味を左右する重要な条件として、状況と対象に注目して調べた。

第1の項目は、色彩語の分化が、主に色に根拠しているのかを調べるのを目的とする。被験者に各色系列別に4つの色を実際提示し、その色に適切だと思われる色彩語を該当のグループから選ばせる。もし、色彩語の選択が主に色に基づいているなら、被験者は提示された色に対して一定な色彩語を選択するだろう。逆に、選択された色彩語がばらばらであるなら、色彩語の選択に脈絡的意味が作用していると考えられる。そして、ばらつきの程度から、色彩語における脈絡意味の比重と判断できる。

第2の項目は、被験者に、色は提示せず、文脈を通して適切だと思われる色彩語を指定したグループから選ばせるものである。この調査項目は、色彩語の多様な派生と、色彩語が使われている背景的な状況や言語使用者の心理的な状況を関連付けたものである。この項目の結果から、状況が色彩語の選択にどの位関わっているのかが分かるだろう。提示された文脈の内容は、他に好きな女性(ができた男性)と元の恋人が会う場面で、男性の心境を記述したものである。被験者には、その内容を周知させた後、文章を提示した。文章の中、色彩語を要求するところに、指定されたグループから適切だと思われる色彩語を選択させ、記入させた。

第3の項目は、各色系列の典型的な色を実際に提示し、その色が使われる典型的な対象を挙げて、適切だと思われる色彩語を指示したグループから選ばせるものである。この項目は、派生色彩語の脈絡的意味に関わる要素としての対象が、色彩語の選択にどの位影響を与えているのかを調べるのを目的とする。

以上の3つの調査項目から、固有語の派生色彩語の意味を、語用的な内容面で、より詳しく把握できるのであろう。即ち、固有語の派生色彩語における、基本的意味(色)と脈絡的意味(状況と対象)の実現傾向が見られるだろう。

## 4. 調査の結果分析

### 4-1 色と色彩語の対応

この調査項目は、同系列の4種、計20種の色を提示して<sup>5</sup>、被験者に適切だと思われる色彩語

5 色の系列ごとに、4種の色を選択する作業は大変困難であった。まず4つの色は目で見て簡単に区別できなければいけないが、そのために設けた色の差は実際かなり大きくする必要があった。結果的に、全ての色がライン上のスペクトルをなしているの、色の区別をつけた4種の色の中では、系列間の区別が曖昧になる場合もあった。最初は、6種の色を提示する予定だったが、結果的に4種となった。本文では、印刷上の問題で、実際の色は提示できないことに了解願いたい。

を、指定したグループから選択してもらうものである。色によっては、同じ色彩語を重複使用することもできる。

一つの色系列に4種の色が実際提示され、被験者は、指定したグループの9つの色彩語から色それぞれに適したのを選択する。この調査から、色彩語を選択する際、色自体をどれほど考慮しているのかが分かる。

結果は次のようである。<sup>6</sup>

表1 色と色彩語：붉다 bukta

グループ1 \ 色	①	②	③	④
붉다 bukta	14	17	2	6
빨갳다 ppalgatta	9	7	2	0
벌겅다 beolgeotta	12	16	11	0
새빨갳다 saepalgatta	3	13	2	0
시뻘겅다 sippeolgeotta	2	13	5	0
불그레하다 bulgeurehada	13	20	21	14
발그레하다 balgeurehada	17	0	9	45
불그스름하다 bulgeuseureumhada	13	16	25	20
발그죽죽하다 balgeujokjokhada	17	3	23	15

表1で分かるように、被験者は、一つの色に対して、様々な色彩語を対応させている。特に、色①と②は、傾向さえも分からないくらい、色彩語の選択がばらついている。こういう結果は、붉다 (bukta) 以外の色系列でも同じであった。

固有語の派生色彩語の区別は「色」という基本的意味だけでは困難である。無論、他の語彙群でもこのような脈絡的意味が働いている。しかし、色彩語の場合、その機能上の重要度が非常に高いと言える。例えば、20種の色の中、50人以上が同じ色彩語を選んだ場合は皆無だった。40人以上が同じ色彩語を選んだ場合は、1種で、30人以上が同じ色彩語を選んだ場合は5種(6種)<sup>7</sup>だった。

韓国語の固有派生色彩語の脈絡的意味は、機能上どのくらい重要度を持っているのか、母語話者間どの位共通して認識されているのか。これから、脈絡的意味の重要要素である状況と対象を設定し、調査してみる。

#### 4-2 状況と色彩語との対応

この調査項目は、色彩語の脈絡的意味として、色彩語が使われている背景的な状況や言語使用者

6 本文(4-1)では、붉다 (bukta, 赤) 系列の結果だけ挙げて分析・解釈する。他の系列も同じ結果を見せているので、付録1に統計結果を添付する。統計の数字が100になっていなかったり、100を越えたりしているのは、色彩語を選択していなかったり2つ以上を選択したりしているのがあったからである。

7 30人以上が同じ色に、2つ以上の色彩語をそれぞれ対応した場合を全部数えたら、6種になった。例えば、nureuda 系列の色①に、39人が noratta を、39人が saetnoratta を対応させている。

の心理的な状況に着目したものである。

調査に入る前、主人公（私）が、新しい恋人（ユンハ）と元の恋人（ヘジン）との間で、悩むという全体のストーリーから説明する。そして、項目で使われた場面として、主人公（私）が元の恋人（ヘジン）に会う場面について説明をする。ヘジンは、昔、彼が綺麗だと誉めてくれた服を着ている。ヘジンと彼がお互いに好きだった時、よく行っていた海辺に二人は座っている。ヘジンが、嫌がる彼をこの海辺まで呼び出したのである。ヘジンは、彼の心を取り戻そうとしている。しかし、彼は、昔は楽しかった場所であった海辺を、今はうっとうしい気分で眺めている。彼は、心の中で、昔のヘジン、今のヘジン、それから、新しい恋人であるユンハを、比較している。<sup>8</sup>

まず、被験者に全般的な内容を理解させた。そして、調査項目となる文章を提示した。<sup>9</sup> 文章中、色彩語が必要なところは空けて置き、選ぶ色系別のグループを指定した。そのグループから被験者に適切だと思われる色彩語を選択させ、記入させる。状況によっては、同じ色彩語を重複使用することもできる。

この項目の目的は、色彩語が使われた状況が色彩語の選択にどの位影響しているかを調べるためであるので、実際色は提示しなかった。つまり、被験者に状況だけで色彩語を選ばせた。「色」という基本的意味が提供されていないにも関わらず、被験者が一定な色彩語を選択するのなら、「状況」という脈絡の意味が非常に強く作用していることが分かる。同時に、色彩語の派生と使用状況は、母語話者間共通した基準によって対応しているとも言えよう。

結果は次の通りである。<sup>10</sup>

表2 状況と色彩語：검다 geomtta

状況	⑥	⑧	⑩
グループ2			
검다 geomtta	31	40	40
감다 gamtta	0	0	0
까맣다 kkamatta	1	36	12
새까맣다 saekkamatta	0	20	3
시꺼멓다 sikkeomeotta	17	0	20
거무끄름하다 geomukkeureumhada	5	2	4
가무끄름하다 gamukkeureumhada	1	2	0
거무죽죽하다 geomujukjukhada	41	0	13
가무퇴퇴하다 gamutoitohada	4	0	6

8 この調査に対する被験者の理解のため、設定したストーリーと役名は、韓国で人気があったテレビドラマから取った。

9 被験者に提示した文章は、日本語に訳して付録2に添付する。

10 本文（4-2）では、검다（geomtta, 黒）系列の結果だけ挙げて分析・解釈する。他の系列も同じ結果を見せているので、付録3に統計結果を添付する。統計の数字が100になっていなかったり、100を越えたりしているのは、色彩語を選択していなかったり2つ以上を選択したりしているのがあったからである。

結果の分析を行う前に、使われた状況の分類を試みよう。⑥は、ヘジンに呼ばれて、嫌々出かけた海辺で、うっとうしい気分で見渡している岩の色である。⑧と⑩は、両方ともヘジンの髪の色だが、⑧は昔好きだった時のヘジンの髪の色、⑩は嫌いで別れたい今のヘジンの髪の色である。即ち、⑥と⑩は話者の否定的な心理が背景や相手（あるいは相手に属しているもの）という状況に反映され、色彩語の選択にも作用している様相が見られる。反面、⑧は、話者の肯定的な心理が相手という状況に反映され、色彩語の選択にも作用している様相が見られる。特に、両方ともヘジンの髪の色である⑧と⑩に注目してみよう。⑧は肯定的な状況が、⑩は否定的な状況が、色彩語の選択に作用している。このように、状況を2分類したのは、色彩語の選択に状況という脈絡的意味が重要な役割をしているか否かを調べると同時に、状況による色彩語の選択はどのような様相を見せているのかを調べるためである。<sup>11</sup>

ここで、色彩語の派生について少し説明すると、特に、内的派生の場合、語感の変化と密接な関連性がある。つまり、子音と母音の交替という内的派生により、主に、語感の変化がおきる。固有語の派生色彩語でも、派生様相から、陽性・陰性という語感の対立が見られる。大概、母音の交替である。<sup>12</sup> 例えば、새까맣다 (saekkamatta) と 시꺼멓다 (sikkeomeotta) がある。ㅏ-ㅑ-ㅑ (ae-a-a) と ㅣ-ㅓ-ㅓ (i-eo-eo) という母音の対立を見せる。ae-a-a は陽性で、i-eo-eo は陰性と分類される。この対立から語感の差が生まれるが、陽性は明るく小さく軽いニュアンスを、陰性は暗くて大きくて重いニュアンスを持つ。この語感が状況の内容と密接に関連している。

表2から分かるように、⑥、⑧、⑩すべてに 겹다 (geomtta) が多く選択されている。これは、文章の中で実際の色を提示しなかったので、語感が一番中立的な単一語が選択され易かっただろう。겹다 (geomtta) 以外の色彩語の使用傾向を状況別に見てみよう。肯定的な心理を表している⑧は、陽性の語感を持つ 까맣다 (kkamatta) と 새까맣다 (saekkamatta) が多く選択されている。その反面、否定的な心理を表す⑥と⑩は、陰性の語感を持つ 시꺼멓다 (sikkeomeotta) と 거무죽죽하다 (geomjukjukhada) が多く選択されている。特に、同じ対象（ヘジンの髪）で使われた⑧と⑩を比較してみると一目瞭然である。話者は、状況（場所、ヘジンのこと、ユンハのこと）に対する自分の心理状態を、色彩語の派生部分に委託している。その委託の内容は語感と状況を対比したもので、使用比率もかなり高いものである。このような結果は、겹다 (geomtta) 以外の色系列でも同じであった。全15状況の中、50人以上が一定な色彩語を選択したのが6状況、40人以上が一定な色彩語を選択したのが10 (11)<sup>13</sup>状況、30人以上が一定な色彩語を選択したのが13 (18)<sup>14</sup>状況だった。

11 他の色系列にも、状況を2分類して調査した。

12 韓国語は、派生により、語感の対立を見せている語彙群が多い。語感の対立を起こす派生として、ㅏ (a) 系列母音（陽性母音）とㅓ (eo) 系列母音（陰性母音）の対立等から見られる母音の派生、単純音と緊張音、破裂音の対立から見られる子音の派生などが挙げられる。

13 40人以上が同じ状況に、2つ以上の色彩語をそれぞれ対応した場合を全部数えたら、11状況になった。例えば、nureuda 系列の状況⑨に、56人が noratta を、44人が saetnoratta を対応させている。

14 30人以上が同じ状況に、2つ以上の色彩語をそれぞれ対応した場合を全部数えたら、18状況になった。例えば、buktta 系列の状況④に、30人が buktta を、36人 balgeurehada を対応させている。



状況という脈絡の意味から見ると、固有語色彩語の派生は、言語使用者が場面と相手に対する心理を表現する装置であり、言語使用者間で共感できる一定な傾向がある。その傾向は、派生による語感と密接な関係がある。

#### 4-3 対象と色彩語との対応

4-2では、固有語色彩語の派生における慣用的な語用の一面が見られた。状況という脈絡の意味が、語感に基づいて、派生内容を決めている。

色彩語の慣用的な語用の要因として、状況と共に、色彩語が使用される対象を挙げられる。そこで、状況は設定せず、対象だけを提示して、色彩語の派生と対象との関係を探った。

各色系別に、典型的な1つの色を実際提示し<sup>15</sup>、その色がよく使用される典型的な対象を<sup>16</sup>色毎に5語、計25語出した。被験者は、該当する色グループから適切だと思われる色彩語に対象を繋げる。対象によっては、同じ色彩語を重複使用することもできる。

結果は次のようである。<sup>17</sup>

表3 対象と色彩語: 회다 heuida

色	陶器	ご飯	シャツ	歯	月
グループ3					
회다 heuida	5	41	8	7	4
하얗다 hayatta	7	37	14	42	3
허옇다 heoyeotta	4	6	0	4	9
새하얗다 saehayatta	25	6	72	34	5
시허옇다 siheoyeotta	2	0	1	0	3
회끔하다 heukkeumhada	6	3	3	3	12
해끔하다 haekkeumhada	21	3	2	4	6
회끄무레하다 heukkeumurehada	5	2	0	3	50
해끄무레하다 haekkeumurehada	27	2	0	3	7

表3から分かるように、同じ色であるが、対象によって使用される色彩語が異なる。それから、対象によって、かなり高い使用頻度で一定な色彩語が選ばれることもわかる。こういうような、対象と派生との関連性は、회다 (heuida) 以外の色系でも同じであった。全25対象の中、50人以上が一定な色彩語を選択したのが10対象、40人以上が一定な色彩語を選択したのが20 (23)<sup>18</sup>対象、30人以上が一定な色彩語を選択したのが24 (33)<sup>19</sup>対象だった。これは状況より高い数値で、対象

15 本文では、印刷上の問題で、実際の色は提示できないことに了解願いたい。

16 自然物、人体、食べ物、文化的な道具などから、その色が一般的で単純なものを任意で収集した。

17 本文(4-3)では、회다 (heuida, 白) 系列の結果だけ挙げて分析・解釈する。他の系列も同じ結果を見せているので、付録3に統計結果を添付する。統計の数字が100になっていなかったり、100を越えたりしているのは、色彩語を選択していなかったり2つ以上を選択したりしているのがあったからである。

18 40人以上が同じ対象に、2つ以上の色彩語をそれぞれ対応した場合を全部数えたら、23対象になった。例えば、buktta系列の消防車に、42人が ppalgatta を、42人が saeppalgatta を対応させている。

の脈絡的意味としての重要生と、派生との密接な関連性が分かる。

## 5. まとめと今後の課題

韓国語には多様な色彩語彙群がある。特に、固有語の派生色彩語は、基本色彩語5語から接辞派生、内的派生、ゼロ変化派生などで、315語になる。多数の派生色彩語の意味は、色の濃度、鮮明度、明暗、光沢、透明度、擬態的要素などで、辞書的に区別されている。しかし、固有語の派生色彩語が使用される実際の場面では、辞書の意味だけでは解釈できない意味部分がある。

本研究では、その意味部分を色という基本的意味と区別した脈絡的意味と規定し、その内容を状況と対象に絞った。固有語の派生色彩語においては、この脈絡的意味が基本的意味より優先的に作用する場合が多い。日常生活では色自体を専門的に区別する必要性が少ないため、固有語の派生色彩語の多様な派生が、色の表現や区別などの色の分化という機能を段々失っているのが事実である。それによって、派生が持つ脈絡的意味がより重要になる。そこで、実際の使用場面で、脈絡的意味がどの位関与しているかを、アンケート調査を通して調べた。その結果、固有語の派生色彩語の選択と解釈には、状況と対象による慣用的な要素が大いに作用していた。

固有語の派生色彩語の脈絡的意味は、状況と対象を中心とし、派生内容と結び付けられる。その一定な形態が語用的に高い頻度で使用され、慣用的なものになっていく。つまり、脈絡的意味により、固有語の派生色彩語は、基本意味とは関係なく、慣用表現を生み出している。こういう傾向により、固有語の派生色彩語は、意味が脈絡によって確実に伝えられる表現の正確性と、言語使用者の心理が委託される表現の象徴性を持つようになる。結局、脈絡的意味によって、固有語の派生色彩語は、言語使用者の発話意図がより意欲的で臨場感ある表現になるように助けている。

以上のように、本研究では脈絡的意味の傾向を探ったが、その具体的な記述という作業が今後の課題として残る。そのために、まず、各色別に脈絡的意味が示す程度を正確に把握する必要がある。それから、脈絡的意味における男女の差をどういうふうに解釈するのか、それも解決すべき問題である。

更に、本研究を発展させ、様々な文章コーパスに使われた色彩語を時代別に分析すると、色彩語の年代別の特徴が整理できるだろう。それと共に、色彩語の使用範囲を調べると、色彩語の意味の変遷も見えてくるだろう。また、研究対象を感覚語全体に拡大すると、色彩語の脈絡的意味がより詳細になるだろう。

19 30人以上が同じ対象に、2つ以上の色彩語をそれぞれ対応した場合を全部数えたら、33対象になった。例えば、nureuda 系列のかぼちゃに、39人が nureotta を、33人 nurikkirihada を対応させている。

## 【参考文献】

- 김인화, “한국어 색채어의 문법적 특성”, 『外国語教育論集』 27 : 151-160, 筑波大学外国語センター, 2005
- 박경선, “영어와 한국어의 색채어와 신체어에 나타나는 개념적 은유”, 『담화와 인지』 8-1 : 69-83, 담화·인지 언어학회, 2001
- 엄훈, “한국어 색채어의 표색 체계에 대한 고찰”, 『국어교육학 연구』 10 : 429-458, 국어 교육학회, 2000
- 손용주, “현대 국어 색상어의 어휘와 양상”, 『새국어교육』 57-1 : 147-185, 한국 국어교육학회, 1999
- 서정섭, “색채어의 상징 의미 연구”, 『추상과의미의 실제』 (이승명 박사 회갑 기념 논문집) : 187-208, 박이정, 1998
- 이승명, “국어 색상어의 연구—의미 기술을 위한 이론적 선단 작업—”, 『홍익어문』 10, 11 : 305-322, 홍익 어문 연구회, 1993
- 박선우, “현대 국어의 색채어에 대한 연구 : 색채 형용사의 의미 분석을 중심으로”, 고려대학교 석사학위 논문, 1985
- 현성순, “한국어 색채 어휘에 대한 연구”, 단국대학교 석사학위 논문, 1982
- 박갑수, “색채어의 위상 : 시와 소설의 경우”, 『김형규 교수 정년퇴임 기념 논문집』 : 193-212, 1976
- 신기철·신용철 (공편), 『새 한글 대사전』, 삼성출판사, 1983
- 이희승 (편), 『국어 대사전』, 민중서관, 1981

## 【付録】

## 1. 色と色彩語

검다 geomtta

色	(1)	(2)	(3)	(4)
グループ 2				
검다 geomtta	24	0	1	0
감다 gamtta	1	13	22	23
까맣다 kkamatta	24	0	0	0
새까맣다 saekkamatta	25	0	0	0
시꺼멓다 sikkeomeotta	13	0	2	0
거무끄름하다 geomukkeureumhada	5	18	16	23
가무끄름하다 gamukkeureumhada	3	19	16	26
거무죽죽하다 geomujukjukhada	3	25	20	13
가무퇴퇴하다 gamutoitohada	2	25	23	15

## 회다 heuida

色 グループ 3	①	②	③	④
회다 heuida	22	3	0	2
하얗다 hayatta	27	7	0	2
허엿다 heoyeotta	0	5	3	13
새하얗다 saehayatta	26	8	0	1
시허엿다 siheoyeotta	0	19	13	8
회끔하다 heukkeumhada	8	13	20	21
해끔하다 haekkeumhada	17	14	23	18
회끄무레하다 heukkeumurehada	0	19	25	27
해끄무레하다 haekkeumurehada	0	16	16	5

## 푸르다 pureuda

色 グループ 4	①	②	③	④
푸르다 pureuda	28	9	23	5
파랗다 paratta	27	10	17	0
새파랗다 saeparatta	21	19	2	0
시퍼랗다 sipeoreotta	4	14	0	0
파르무레하다 pareumurehada	2	4	10	19
파르스름하다 pareuseureumhada	11	1	30	30
파르죽죽하다 pareujokjokhada	4	15	12	20
퍼르죽죽하다 peoreujukjukhada	0	25	3	10
푸르뎡뎡하다 pureudengdenghada	1	3	4	16

## 누르다 nureuda

色 グループ 5	①	②	③	④
누르다 nureuda	10	5	6	1
노랗다 noratta	39	0	4	14
누렇다 nureotta	3	20	13	1
셋노랗다 saetnoratta	39	11	13	11
싯누렇다 sitnureotta	3	22	10	0
누르무레하다 noreumurehada	1	7	11	36
누르스름하다 nureuseureumhada	0	6	10	6
누리끼리하다 nurikkirihada	1	3	19	28
노리끼리하다 norikkirihada	0	26	14	0

## 2. 状況の項目

(グループ4 ①) 冬の海には, 薄暗い中, 黄昏が(グループ1 ②) 燃えている。今, ヘジンと並んで座っているが, ユンハの顔を脳裏から消せない。広めで(グループ3 ③) 彼女のひたい, 熱くて(グループ1 ④) 彼女の唇, 何より暖かい心遣い。無性に彼女に会いたい。

(グループ4 ⑤) 苔むした(グループ2 ⑥) 岩はなんだか気分まで陰気にさせている。に昔は, ヘジンのかわいくて(グループ3 ⑦) 顔を, 長くて(グループ2 ⑧) 髪を, 好んで(グループ5 ⑨) ワンピースを着る若々しさが好きだった。

しかし, ユンハがいる今は, ヘジンは意地悪い邪魔者に過ぎない。ヘジンは重荷になって, 私を苦しめている。荒れている波のように乱れた(グループ2 ⑩) 髪と海風に(グループ4 ⑪) くなった頬が醜い。(グループ5 ⑫) ワンピースは風邪で足に惑い, 合わないような(グループ1 ⑬) ストッキングと靴にも腹が立つ。

あー, ユンハに会いたい。眩しいほど(グループ3 ⑭) スカートをひるかえながらそばに来て, 私だけの(グループ4 ⑮) 木になってくれないかな。

## 3. 状況と色彩語

붉다 bukta

状況	②	④	⑬
グループ1			
붉다 bukta	72	30	20
빨갳다 ppalgatta	1	9	2
벌겅다 beolgeotta	4	0	22
새빨갳다 saeppalgatta	4	4	14
시뻘겅다 sippeolgeotta	2	0	26
불그레하다 bulgeurehada	7	12	0
발그레하다 balgeurehada	1	36	2
불그스름하다 bulgeuseureumhada	9	9	1
발그죽죽하다 balgeujokjokhada	2	0	13

## 희다 heuida

グループ 3 / 状況	③	⑦	⑭
희다 heuida	38	22	7
하얏다 hayatta	28	39	21
허엿다 heoyeotta	1	1	0
새하얏다 saehayatta	23	14	65
시허엿다 siheoyeotta	1	1	1
희끔하다 heukkeumhada	2	3	0
해끔하다 haekkeumhada	3	18	4
희끄무레하다 heukkeumurehada	4	0	1
해끄무레하다 haekkeumurehada	0	1	1

## 푸르다 pureuda

グループ 4 / 状況	①	⑤	⑪	⑮
푸르다 pureuda	6	17	0	81
파랗다 paratta	3	3	1	6
새파랗다 saeparatta	0	1	5	11
시퍼랗다 sipeoreotta	50	5	16	1
파르무레하다 pareumurehada	0	0	0	0
파르스름하다 pareuseureumhada	6	24	12	0
파르죽죽하다 pareujokjokhada	0	3	4	0
퍼르죽죽하다 peoreujukjukhada	33	46	11	0
푸르멩멩하다 pureudengdenghada	2	1	51	0

## 누르다 nureuda

그룹 5 / 状況	⑨	⑫
누르다 nureuda	0	1
노랗다 noratta	56	20
누렇다 nureotta	0	5
샛노랗다 saetnoratta	44	25
싯누렇다 sitnureotta	0	15
누르무레하다 noreumurehada	0	0
누르스름하다 nureuseureumhada	0	1
누리기리하다 nurikkirihada	0	16
노리기리하다 norikkirihada	0	16

## 4. 対象と色彩語

## 붉다 bukta

色 グループ1	消防車	さくらんぼう	ワンピース	血	太陽
붉다 bukta	2	8	22	27	50
빨강다 ppalgatta	42	40	47	2	1
벌정다 beolgeotta	3	2	0	6	10
새빨강다 saepalgatta	42	39	0	5	6
시뻘정다 sippeolgeotta	6	1	1	55	15
불그레하다 bulgeurehada	2	4	2	0	7
발그레하다 balgeurehada	0	3	0	2	5
불그스름하다 bulgeuseuremhada	3	3	25	2	4
발그죽죽하다 balgeujokjokhada	0	2	3	1	0

## 검다 geomtta

色 그룹2	電話機	葡萄	ストッキング	足の裏	夜空
검다 geomtta	52	3	53	10	4
감다 gamtta	3	4	5	2	1
까맣다 kkamatta	34	19	7	3	20
새까맣다 saekkamatta	3	24	7	1	53
시퍼렇다 sikkeomeotta	2	2	3	59	6
거무끄름하 geomukkeuremhada	3	7	3	4	4
가무끄름하다 gamukkeuremhada	2	33	10	8	6
거무죽죽하다 geomujukjukhada	1	4	8	9	4
가무퇴퇴하다 gamutoitohada	0	4	4	4	2

## 푸르다 pureuda

色 그룹4	信号	鯖	스카프	目	空
푸르다 pureuda	46	3	28	27	27
파랗다 paratta	44	3	35	50	6
새파랗다 saeparatta	1	1	7	7	59
시퍼렇다 sipeoreotta	1	4	2	5	4
파르무레하다 pareumurehada	0	23	2	0	0
파르스름하다 pareuseuremhada	3	19	4	6	3
파르죽죽하다 pareujokjokhada	0	4	20	3	0
퍼르죽죽하다 peoreujukjukhada	1	7	0	1	1
푸르땡땡하다 pureudengdenghada	2	37	2	1	0

## 누르다 nureuda

色 グループ 5	傘	かぼちゃ	靴	顔	金
누르다 nureuda	1	6	3	0	1
노랗다 noratta	49	3	43	1	4
누렇다 nureotta	1	39	6	5	13
셋노랗다 saetnoratta	43	0	25	4	5
싯누렇다 sitnureotta	1	2	3	1	49
누르무레하다 noreumurehada	1	8	5	7	2
누르스름하다 nureuseureumhada	1	6	5	6	2
누리끼리하다 nurikkirihada	3	4	5	42	3
노리끼리하다 norikkirihada	0	33	5	34	21